



WATSON
Business School
ビジネススクール

マネジメントではなく "リーダーシップ" を学ぶ意味がここに！
Leadership

スクールガイド
School Guide
2026年度版

オンライン
3ヶ月短期集中
12講座

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース
Master of Professional Business Leadership (MPBL)

<https://www.mycoachwatson.com/wbs>

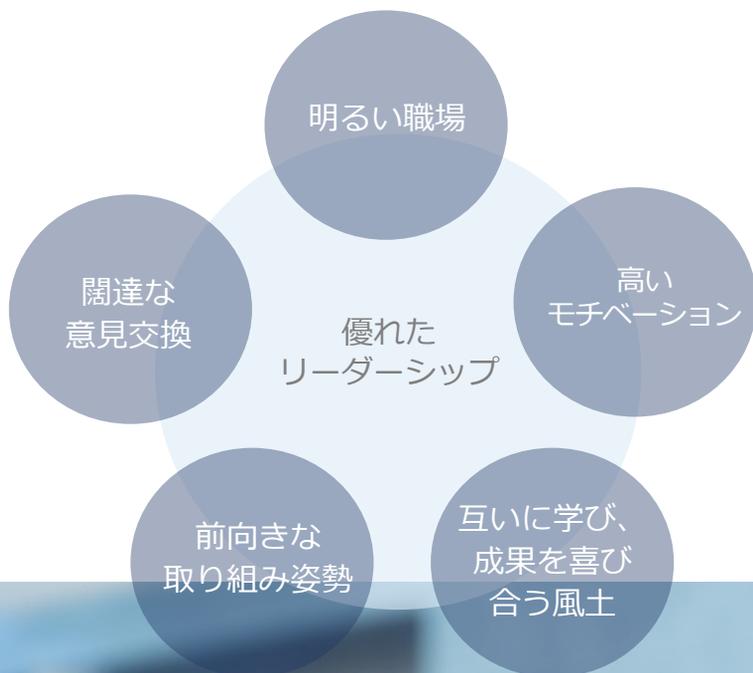


企画・運営

世界の知見を日本のビジネスリーダーへ
株式会社 国際ビジネス総研

経営者から部門・チームのリーダーまで

優れたリーダーシップこそが企業の競争力を支える



リーダーは、人を育み、人を励まし、愛情をもってメンバーに日々接することで信頼を醸成してゆきます。部下を管理するのがリーダーではなく、部下を伸ばし、部下がその能力を最大限に発揮して明るく前向きに働ける環境を整えるのがリーダーの重要な役割なのです。



WATSON
Business School
ビジネススクール

「私はワールドクラスのリーダーになれる！」



「今」の視点
マネジメント
 Management

vs.

「未来志向」
リーダーシップ
 Leadership

マネジメントが、現状の枠組みの中で、計画や予算、人員やプロセスなどを管理しながら業務目標の達成をめざす、「管理と統制による今の視点」であるのに対し、リーダーシップはビジョンを示し、人を動機づけながら、中長期的な視点で組織やチームが進むべき方向性を明確にしつつ、メンバーの自主性や創造性を引き出しながら彼らの自律的行動を促して継続的に変革を主導し、企業の競争力維持と事業の発展に貢献する、という「ビジョンと変革による未来志向」です。

ゆえに、マネジメントだけでは企業の発展は望めません。人材も育ちません。個人も組織もリーダーシップを学び、高めることで、人も組織も成長し、変化し続けるビジネスにおいて競争力を失わず、変化に柔軟に対応しながら企業としての発展を維持できるようになります。
 そうして、はじめて「顧客に選ばれる企業」であり続けられるのです。

	リーダーシップ	マネジメント
要諦	変化への対応 変革の推進	組織秩序と問題回避
視点	VISION・戦略	計画・予算策定
フォーカス	モチベーション・人材育成	組織図と人員配置
推進力	動機づけ&自律的行動	管理&統制

リーダーシップを学ぶ意味・意義

変化のスピードがこれまでに無いほど速く、不確実で複雑な現代社会において、リーダーシップを学ぶことは、ビジネスの持続的成長に大きく貢献します。なぜなら、リーダーシップは「役職者」には必須のスキルであることに加え、「誰もがもっている能力やポジティブな影響力を最大化できる重要なスキル」だからです。リーダーシップを学ぶことは、すなわち、自己成長を促し、組織やチームの中でより価値のある人材へと変貌するための最も確かな方法なのです。

本コース受講対象者	リーダーシップを学ぶ意味・意義
<p>経営者・役員、 事業部長や部長等、 部門のリーダーの方</p>	<p>経営層や部門のリーダーがリーダーシップを学ぶ意義は、組織目標・事業目標の達成、イノベーション創出、持続的成長の実現に不可欠です。明確なビジョン提示による求心力向上、メンバーの自律性とモチベーション高揚、変化への対応力強化、そして次世代リーダー育成を通じて、組織を「変革」へと導き、競争優位性を確立することにあります。</p>
<p>今後、 リーダーをめざす方</p>	<p>リーダー（役職者）ではない人がリーダーシップを学ぶことは、現代のビジネス環境において「個人の成長」「周囲へのポジティブな影響力」「組織への貢献」という3つの観点から極めて大きな意味があります。</p> <p>主体性向上と自己成長 自分の業務に対して責任感が増し、主体的行動力が向上するだけでなく、自分で課題を発見し、目標を設定して解決策を実行する能力が飛躍的に高まります。</p> <p>人間力の向上による周囲への影響力と信頼構築 上下関係に頼ることなく、周囲のメンバーと協力し、チームの連携や生産性を高めるだけでなく、チームの目標達成に向けて自分の意見やアイデアを提案し、周囲の共感や熱意を引き出せるようになります。また、コミュニケーション力や感情的知性（EQ）が向上し、同僚や上司からの信頼を得やすくなる点もリーダーシップを学ぶ大きなメリットです。</p> <p>仕事の質と問題解決力の向上 会社（経営陣）や組織の目標（ビジョン）を理解し、自分の業務がどう貢献しているかを見通すことができるようになります。また、困難な状況においても客観的に状況を分析し、前向きな解決策を導き出す「問題解決力」が養われます。複雑で変化の激しい現代社会において、臨機応変に対応できる高い柔軟性と精神力がもたらされます。</p>



グローバルビジネスにおける30年以上の実戦経験を基に、現場目線で練り上げられた実践的カリキュラム。あなたをワンランク上のリーダーへと押し上げます。

WATSON ビジネススクールの 特長

スクールを企画・運営する株式会社 国際ビジネス総研（以下「国際ビジネス総研」/代表取締役社長 植松裕史）は 長年にわたり、リーダーシップや組織開発、ビジネス戦略や人材育成などを中心に、ビジネスの成功と企業の発展に不可欠なテーマについて研究を重ねてきました。

国際ビジネス総研がもつ豊富な知見をカリキュラムや学びの柱とする、数少ないオンライン型実践的ビジネススクールとして **WATSON** ビジネススクールは誕生します。

学識経験者やコンサルタントが学問として教える多くのビジネススクールとは本質的に異なり、実戦での豊富な国際ビジネス経験とその知見から湧き出るリーダーシップ実践のノウハウが、しっかりとカリキュラムに組み込まれています。

リーダーシップを身につけたい、部下や上司との関係を円滑にしたい、チームや組織として成果をあげたい、会社や部門の風土を変えたい、ビジネス戦略を構築できるようになりたい、人材育成について学びたい、リーダーとして自分自身をもっともっと高めたい。

WATSON ビジネススクールはそんなあなたをしっかりとサポートします。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

コースの概要



本コースは、リーダーシップの本質を理解し、部下の努力と成長をサポートし、部下がより前向きに、より積極的に仕事に取り組める環境を整え、チーム全体をリードしてパフォーマンスに繋がられる、真のリーダーを育成するためのコースです。

リーダーシップの本質について、世界の知見も含めて深く詳細に学ぶことができます。人をより理解できるようになり、気持ちに余裕をもってチームを牽引できるようになります。

リーダーに求められるスキル、すなわち人材育成や組織作り、ビジネス戦略立案力やビジネスデザイン力、世界で活用されているフレームワークや関連理論に関しても知識を深めることができます。自社の競争力をいかに高めるか、部門の業務プロセスをどう見直すか、いかにしてビジネスの効率を追求しながら顧客満足度を高めるか、など、ビジネスを戦略的に考える能力を養うことができます。

リーダーとして、より前向きに、より積極的に仕事に取り組めるよう、自分を大いに高めてくれるコースです。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

コースの特長



経営層から現場のリーダーやリーダーをめざす方まで、リーダーシップを身につけたい方のための実践的コースです。

短期集中

1. オンライン短期集中コース

受講期間は3ヶ月です。計12の講座を月4回のペースでオンラインで受講していただきます。短期間に実践的リーダーシップを効率良く学べます。講座は90分/回。時間も受講者の仕事スケジュールを考慮して、夜間18:30~20:00に設定されています。講座の合間に課題やアサインメントに取り組むことで3ヶ月間をフル活用します。

理論と実践

2. 理論と経験に基づく実践的カリキュラム

30年以上のリーダーシップ経験をもとに構築されたカリキュラム。学問として学ぶこととは一線を画した、受講者の悩みや課題に直結する「経験から得た貴重な学び」を習得できます。

世界の知見

3. 世界の先進性に学ぶ

教材、テキスト、ケーススタディやアサインメントには、リーダーシップの世界的権威や研究者による先進的知見を数多く反映。他のスクールでは学ぶことのできない充実したコース内容です。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

カリキュラム概要



第1講座 ～ 第12講座

リーダーシップの本質やリーダーに必要なスキルを含め、全12講座を終了した段階で、下記（及びその他）の内容が理解できていることをめざします。（順不同）

■ 人間的な側面に関するテーマ

- リーダーシップとは何か？
- リーダーシップとマネジメントはどう違うのか？
- リーダーに相応しい行動とその必要性や理由とは何か？
- EQ（Emotional Intelligence Quotient, 感情的知性）の重要性や構成能力とは何か？また、EQを高めるにはどうすればよいのか？
- なぜEQが大切なのか？
- リーダーとしての思考方法（クリティカルとアナリティカルなど）とは？
- 心理的安全性とは具体的にどういうことなのか？また、それを高める上でリーダーに求められる姿勢や役割とは何か？
- パフォーマンスの高いチームづくりにおいて重要なことは何か？どのようにして高パフォーマンスのチームづくりを進めれば良いか？
- 部下やチームメンバーの能力を伸ばすための考え方や具体的方策とは何か？
- 難しい上司や扱いにくい部下には、どう対処したらよいのか？
- 「この人についてゆきたい」という部下やメンバーの気持ちはいかにして生まれるのか？
- 人は働く上でどのような心理状態を辿るのか？また、リーダーはそれぞれの状態にいかに対応すればよいのか？
- レジリエンス（困難やストレスに対する回復力や復原力）を高めるにはどうすればよいのか？
- モチベーションとメンタルヘルス（上手に対処するためには）？
- セルフマネジメントの重要性
- その他

上記のテーマ表現は、講座に含まれるテーマ概要を示したものであり、講座のタイトルや講座において使用されるテーマ名称とは必ずしも同一ではありません。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

カリキュラム概要



第1講座 ～ 第12講座 (続)

■ ビジネス開発、業務推進や改革、新規事業や業務見直し等に関するテーマ

- 先見性を高めるための思考習慣とその習得
- 顧客はあなたの会社の何に、どこに、共鳴・共感するのか？ (ビジネスのゴールデン・サークル)
- より多くの人に影響を与えるメカニズムとは？ (Chasm 「キャズム・谷」を越えて)
- Thought Leadership とは？ Learning Leadership とは？
- コミュニケーション・スキルを磨く
- アサーティブコミュニケーションとは何か？また身につける方法とは？
- ビジネスプロセスを検証する。その意義と方法とは？
- 「ビジネス戦略」はなぜ必要不可欠なのか？
- 「ビジネス戦略」にはどのようなものがあるのか？また、それらを実践するためのフレームワークとはいかなるものなのか？
 - ランチェスター戦略、ブルーオーシャン戦略、競争優位の戦略、etc.
- USP (Unique Selling Proposition) とは何か？自社のUSPを定義することの意義や意味とは？
- ビジネスモデルデザイン (ビジネスモデル設計) とその重要性とは？
- ビジネス (市場、競合、顧客など) を分析する必要性とその方法とは？
 - SWOT分析 vs. SOAR分析、etc.
- ブランドカ構築とブランド戦略
- ビジネスパフォーマンスの評価手法 (ビジネス評価指標) とは？
- 目標設定はいかにすべきか？
- シェアード・リーダーシップとは？
- その他

上記のテーマ表現は、講座に含まれるテーマ概要を示したものであり、講座のタイトルや講座において使用されるテーマ名称とは必ずしも同一ではありません。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

2026年2月1日（日）より第1期生（4月生）受付開始

（受講定員各期10名 | 申込み先着順受付 | 3月19日（木）申込締切）



修了証書
Certificate
サティフィケート

本コースを*無事終了された方には
履修修了を証明する修了証書を授与
いたします。

*10講座以上出席・履修した場合

*出席・履修が10講座に満たない場合、別途費用にて欠席と
なった対象講座の補習を受けていただくことで、修了証書
をお受け取りいただけます。

お申込み

各期の受講定員（10名）になり次第締切となります。

本コース受講ご希望の方は
下記QRコード、または
URLよりお申し込みくださ
い。



<https://www.mycoachwatson.com/wbs-registration>

本コース講座開始スケジュール

第1期（4月～6月）
第2期（7月～9月）
第3期（10月～12月）
第4期（2027年1月～3月）

第2期以降の受講受付は、それぞれ
受講開始月の2ヶ月前より行います。



修了証書

Certificate of Completion

田中花子 様

2026年度MPBLコースの課程を終了した
ことを証します。

Master of Professional Business Leadership
- MPBL -

WATSON Business School



Date of Issue

Trainer Signature

This certificate acknowledges the successful completion of this course and is issued solely for the purpose of acknowledging participation. It is not an accredited qualification recognized by any official regulatory body.

画像はイメージです。
実際の修了証書はデザインが異なる場合があります。
修了証書の授与は電子メール添付にて行なわれます。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

2026年 第1期 日程

(4月～6月)

講座時間：18:30～20:00

講座 #	日程
第1講座	4月9日(木)
第2講座	4月15日(水)
第3講座	4月22日(水)
第4講座	4月28日(火)
第5講座	5月7日(木)
第6講座	5月13日(水)
第7講座	5月20日(水)
第8講座	5月27日(水)
第9講座	6月3日(水)
第10講座	6月10日(水)
第11講座	6月17日(水)
第12講座	6月24日(水)

- ① 各講座の課題やアサインメントなどは、講座時間以外の時間も活用して対応いただきます。
- ② 講座は予定時間内に終了するよう努めますが、諸事情及び質疑が長引くことなどにより、10分～15分程度長引く場合があります。予めご了承ください。尚、講座時間終了後、長引いた場合の退出は自由です。

受講に際して：

- ・ 講座はZoomオンラインで行います。受講者の方には当校よりリンクをお送りします。
- ・ 受講者の方は、PCとインターネット環境をご用意ください。
- ・ ZoomはWebからログインしていただけます。
- ・ 受講者の方がZoomをインストールする必要はありません。
- ・ 投影する資料等が見にくい等の理由から、スマホではなくPCでのログインをお勧めします。
- ・ テキスト(PDF)は、講座に先立ちメール添付にて受講者の方へ配信されます。
- ・ 第2期以降の日程は、随時WATSON GroupのWebサイト等でご案内します。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)



欧米ビジネスパーソンの
自己啓発投資額（€, \$）

欧米（特に米国）のビジネスパーソンは、自己啓発やスキルアップへの投資にひじょうに積極的であり、企業による従業員教育への投資額も日本と比較して高水準です。ビジネスの世界競争がきわめて激しくなっている今、日本のビジネスパーソンにも日本企業にも、欧米に劣らない自己啓発投資（人的投資）が求められています。

1. 個人の自己啓発投資（パーソナル投資）

目安は年収の3%~6%: 高いパフォーマンスを維持する上で、年収の3%~6%を自己投資（書籍、セミナー、資格取得、コーチング等）に回すという考え方が一般的です。高所得のビジネスパーソンや経営トップ、役員などの場合、年収に応じて年間の自己啓発投資額が円環算で100万円~500万円程度に達するケースは珍しくありません。

2. 企業による人材育成投資（企業研修投資）

欧米企業の企業研修投資は日本企業の2倍以上: 欧米（とくに米国やドイツの企業）では、従業員一人当たりの年間教育投資額が日本企業の2倍以上であるという調査結果があります。GDPでドイツが日本を追い越したことの要因のひとつはここにもあると考えられます。

投資額の規模で見ると、2025年における米国企業の社員研修投資総額は1,028億ドルに達し、前年比4.9%増と右肩上がりです。一人当たりの投資額では、2025年、米国企業は従業員あたり年平均874ドル（約13万円）を研修に投資しており、1,000ドル（約15万円）を超える例も数いと報告されています。

「リーダーシップ」は欧米の人材育成投資・自己啓発投資において、きわめて重要なテーマとされています。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)



WATSON
Business School
ビジネススクール

受講費用のご案内

入学金不要

テキスト代、
課題（アサインメント）料込み

当校の料金は、標準料金体系（A）とWATSONグループクライアントの方向けの優待料金体系（B）の2つの体系で構成されています。「全額一括プラン」の他、「2回分割プラン」と「初回+6回（6ヶ月）分割プラン」の2つの分割払いプランをご利用いただけます。

標準料金体系（A）

- ① 全額一括プラン 248,000 円 /人(税込)
- ② 2回分割プラン（初回50%）
124,000円/初回 + 132,000円/2回目 = 256,000円（税込）
- ③ 初回+6回分割プラン（初回50%）
124,000円/初回 + 2回目以降（¥25,000 x 6回） = ¥274,000円（税込）

優待料金体系（B）（WATSONグループクライアントの方向け料金）

（クライアントの方、匠の英語®受講者の方、THE LEADERS™ 購読者の方、HILLS™メンバーの方等）

クライアントではない方でも、THE LEADERS™ の無料購読を事前にご登録いただく（無料）、医療関係の方であれば、事前に医療DXオンライン勉強会 HILLS™ にご入会いただく（無料）等により、本優待料金で受講していただけます。詳しくはお問い合わせください。

- ① 全額一括プラン 198,000 円 /人(税込)
- ② 2回分割プラン（初回50%）
99,000円/初回 + 105,000円/2回目 = 204,000円（税込）
- ③ 6回分割プラン（初回50%）
99,000円/初回 + 2回目以降（19,000円 x 6回） = 213,000円（税込）

備考

- *全額一括及び分割プランの初回お支払いは、各期講座開始月の前月となります。
- *2回分割プランの2回目のお支払いは、各期講座最終月の翌月となります。
- *初回+6回分割プランの2回目以降のお支払いは、各期講座最終月の翌月より開始となる毎月のお支払い（6回）となります。
- *全額一括プラン及び分割支払いプランの初回分の請求書は、講座へのお申込み受付が完了した時点で発行されます。その他の請求書は該当月の月初に発行されます。
- *お支払いは請求書に記載されたお支払期限までに「銀行振込」にてお願いいたします。請求書日付より10営業日以内がお支払期限となります（分割払いの2回目以降の分割分については、請求書日付より7日が支払期限）。但し、入学お申込み日から第1講座開始まで10営業日に満たない場合、受講費用（分割プランの場合は初回分）のお支払期限は「各期講座開始月の3営業日前」となります。
- *補習費用は、標準料金 ¥16,500/税込/講座、優待料金 ¥13,200/税込/講座です。請求書は補習お申し込み時に発行されます。お支払い期限は請求書日付より7日以内です。
- *領収書が必要な場合は、その旨お知らせください。
- *料金体系その他、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)



WATSON
Business School
ビジネススクール

自己啓発投資の考え方



仮に年収600万円の方が料金体系A 全額一括プランをご利用いただいた場合、受講費用は税込ベースの単純計算で1年間の年収に対して4.1%、3年間の年収合計に対しては1.3%となります。優待料金であれば年収に対して3.3%、3年間の年収合計に対しては1.1%となります。経営層、管理職から一般社員の方まで、無理のない範囲で自己啓発投資をしていただける料金体系をご利用いただけます。

自己啓発投資は必ずや自分の財産となって戻ってきます。

「知識に投資することは、常に最大の利益をもたらす」

ベンジャミン・フランクリン

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

受講特典

(選択とご利用は受講者の方の任意です)

特典
1



無料 アフターフォロー (オンライン)

個人

無料フォローアップミーティング (60分/1回のみ)
(コース修了後1ヶ月以内にオンラインで行います)
受講内容へのご質問やご相談などにご利用ください。

特典
2



WORLD-CLASS
LEADERSHIP™

個人

ワールドクラス リーダーシップ・コーチング
(オンライン)
15% OFF

WATSON Group が提供する ワールドクラス リーダーシップ・コーチング (月2回まで、平日、45分程度/回) を 通常料金 (¥12,800/月/税込) の15% 割引にてご提供いたします。コーチング開始は本コース終了後6ヶ月以内。最低継続期間は3ヶ月。その後は月単位でいつでも解約可能です。



WATSON
Business School
ビジネススクール



WATSON
Business School
ビジネススクール

プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース
Master of Professional Business Leadership (MPBL)

リーダーシップで人を伸ばす・事業を伸ばす

法人契約

法人契約

所定の金額で一定人数受講していただける法人契約もございます。
ご要望に応じてオンサイト研修も可能です。詳しくはお問い合わせください。

貴社の社員研修プログラムの一環として
ぜひご検討ください。

お問い合わせ/ご相談は info@mycoachwatson.com まで



プロフェッショナル ビジネスリーダー短期育成コース

Master of Professional Business Leadership (MPBL)

よくあるご質問 (FAQ)



Q. 小さなチームのリーダーです。ビジネス戦略を学ぶのは私にとってプラスなのでしょうか？

A. 大いにプラスです。主要なビジネス戦略を学ぶことで、自分の会社や所属する部門がどのような戦略をとっているのか、なぜそういう戦略をとっているのか、など、より広い視野でビジネスを理解できるようになります。会社の方向性やVISION、戦略などを現場でスタッフにわかりやすく伝えられるようになるため、リーダーとしての仕事の幅も広がるでしょう。

Q. 会社役員です。ある事業の責任者を任されています。これまで参加した研修は「役員研修」のようなものばかりでした。同じような立場、考え方、同じような目線の方が多く、研修内容も組織論や経営指標、人事考課や評価などが中心でした。このスクールはかなり異なるようですが？

A. 異なります。一番は「リーダーシップの本質」を学ぶことです。経営層でも現場のリーダーでも、リーダーシップの本質は同じです。講座は現場でのリーダーシップやそれに伴う苦労や悩みにも触れる機会ともなるため、ご自身の会社の現場の方々の悩みや苦労が、より理解できるようになるのではないのでしょうか。2番目は経営戦略と戦略構築のフレームワークです。事業の責任者であれば、事業戦略立案はひじょうに重要な役割のひとつです。複数の戦略理論を知り、ご自身が担当する事業にあった戦略とそのフレームワークを見つけることで、より高度な戦略構築力を身につけていただけます。その事業戦略を組織に浸透させれば、組織力は倍加します。

よくあるご質問（FAQ）（続）

Q. リーダーではないのですが、社内の空気がいつも重たいので、何とかそれを変えたいと思っています。そのためのヒントになるようなことは学べるのでしょうか？

A. 学べます。きっと「どんよりした曇り空」のような雰囲気でしょうか。「空気が重たい」という場合、往々にして社員の気持ちが後ろ向きになっています。自分の居場所がない、意見を言っても聞いてもらえない、上司が細かく管理しすぎる等、気持ちが完全に後ろを向いている状態が想定されます。リーダーでない方でも、リーダーシップを学ぶことで、同僚や周囲へポジティブな影響を与えられるようになります。相手の気持ちがより理解できるようになり、管理型上司への対処方法も徐々につかめるようになってきます。あなたは周囲の人にとって心を開ける存在、頼れる存在となり、それが信頼や人望へとつながります。リーダーシップを学べば、自分をより成長させることができます。周囲からの信頼はさらに増すでしょう。周囲の信頼と人望を備えた人は、リーダーとして立派に有資格者です。リーダーシップを学ぶことは、自身のキャリアにもきわめて有益であり、欧米で多くの経営幹部や一般社員がリーダーシップを学んでいるのもそのためです。

Q. 部門のリーダーです。部下のやる気を引き出せずに悩んでいます。解決策は見出せるのでしょうか？

A. 見出せます。部下のやる気が出ないのには、原因とその原因を作っている背景があります。「原因」と「背景」がわかれば解決策は自ずと見えてくるのですが、どうすればこの「原因」と「背景」を把握できるのか・・・、という点が重要ですね。部下との対話やコミュニケーション機会を増やす、ミーティングのスタイルを変えてみる、聞き出すための質問や、その尋ね方にも工夫を凝らす、などいろいろです。では、具体的にどのようにすれば良いのでしょうか？ その答えが本コースにあります。



エンブレムに込められた想い

WATSON ビジネススクール

当校のエンブレムには、創立者の人材育成に対する
熱い想いが込められています。

円形のデザイン： 始まりも終わりもない円を描くことにより、学びや知識の探求は果てしなく続くことや、スクールというコミュニティの永続性を象徴しています。また、円形は世界（地球）を表します。グローバルな視点によるワールドクラスの学びを表わしています。

月桂樹のモチーフ： 月桂樹は芸術・学問・スポーツなどにおける功績を意味する他、古代ギリシャ時代から栄光の象徴とされており「スクールに栄光あれ」との願いが込められています。

柱のモチーフ： 古代ギリシャ建築様式から 学問の基盤、知性、知の構築、伝統といった意味合いをもちます。安定して立つ柱は、スクールの揺るぎない使命や信頼性を象徴しています。

星のモチーフ： 輝く星は受講者の未来への希望や理想を、また北極星が航海の道標とされていたように、受講生を正しい方向へ導く「指針」「羅針盤」としてのスクールの役割を象徴しています。10個の星は「10大天体（太陽・月・水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星・冥王星）」を指しています。

これらに加え、学びの象徴として「**本**」のモチーフを加え、スクールの略称「WBS」を全体に配置し、人材育成への想いを込めてスクールのエンブレムとしました。



Executive Director / WBS 創業者・主任講師

株式会社 国際ビジネス総研
代表取締役社長 植松裕史



WATSON
Business School
ビジネススクール

Business Profile 概要

日系IT企業 国内営業部門の要職を経験の後、1988年 同社米国法人社長。1997年 人工知能搭載の金融リスクマネジメントソフトウェアで世界をリードした米HNCソフトウェアの日本法人代表に就任。シンガポールにも拠点を開き、2000年にはオーストラリアの主要銀行も顧客リストに名を連ねた。その後、同社を買収した米フェア・アイザック（現FICO）の米国本社Vice President 兼 アジア太平洋統括代表として引き続き重責を担い、事業を拡大した。

2008年 医療ITの世界的リーディング企業である米インターシステムズ社日本法人社長に就任。12年間の在籍中、大学病院を中心に顧客基盤を拡大。インターシステムズ日本法人を日本市場における医療ITのリーディング企業のひとつに育て上げた。

キャリアを通じ、九州大学ビジネススクール（QBS）、MOTスクール（運営：大阪ガス（株））、在日米国商工会議所など、数多くの機関から講師として招かれ、リーダーシップ、経営戦略などに関する講義・講演を日本語、又は英語にて数多く行う。本年6月には、国内大学院の経営管理研究科（修士課程）において特別講義が予定されている。

社会貢献活動にも積極的に取り組み、平成30年に日本赤十字社より金色有功章を受章。日本赤十字社への長年の貢献に対し、令和4年、厚生労働大臣より感謝状が贈られた。



WATSON
Business School
ビジネススクール

お忙しい中ご一読いただき、まことにありがとうございました。

お申込み・お問い合わせ

本コース受講ご希望の方は右のQRコード
または下記URLにてお申し込みください。

<https://www.mycoachwatson.com/wbs-registration>



但し、各期の受講定員（10名）になり次第締切とさせていただきますので、
予めご了承ください。

お問い合わせは info@mycoachwatson.com まで
何なりとお気軽にお寄せください。

本スクールガイドに記載された内容は、必要に応じて随時予告なく追加・変更されます。
Webサイトからは都度最新版をダウンロード（DL）いただけます。

企画・運営

世界の知見を日本のビジネスリーダーへ
株式会社 国際ビジネス総研